

富貴集会所屋上防水改修工事

問

改修工事の概要は。

答 (社会教育課)

建物は昭和50年に建築され、防水シートの面積は186㎡、ウレタン防水シートを貼り付け、集会所に入る坂道には、コンクリートを打設し、幅員2.2m、長さ約10mで、その横にはステンレスの手すりを設置する。

産業建設委員会

ため池等整備事業

問

10万トンのため池が7カ所ある中で、宮下新池と客池を選定した理由は。

答 (産業経済課)

県からの指導もあり、

10万ト以上で、平成12年以前に改修が済んだものであり、耐震診断には、ボーリング調査が必要である。その際に、ある程度水を抜かなければならないが、これらの池は大谷池から水を回してもらうことができるので、この2カ所を選定した。



新池 (宮下)

なかやま栗まつり共催野外音楽広場イベント事業

問

今後の栗まつりの運営方法について、どのような検討が行われているのか。

答 (中山地域支援課)

これまで2回ほど区長や関係者と協議を行った。その中で、地域からもイベントが歌謡ショーに近いものになっているのではとの指摘もあった。今年の栗まつりでは、栗の対面販売をする計画もあったが、一番おもしろいと言われる「銀寄(ぎんよせ)」という種類の端境期に当たってしまい、栗の数が少なく、全体的に品薄状態での開催となった。栗が順調に生育していれば、もう少し変わった内容になったと思う。

現在、イベントの出店者は、地元の中山地域だけでなく、他の地域からもあり、年々増えている状況である。今年の売上げも出店者の申告では、704万円と一定の成果を上げた認識している。地域の方からは、イベントはやめなideくれと

いう声が強く、生産者への指導もあり、来年、栗を中心とした内容に変えていく協議は、既に始めている。

伊予市景観条例の制定

問

①無許可で建築物を建てようとする場合の対応は。

②景観計画区域の範囲が広すぎて、住民に浸透しにくいのではないかと。

答 (都市整備課)

①基本的に建築確認が必要ということ、それに

合わせて事前協議が上がってくると考えているが、そうでない場合については、なかなか把握することは困難である。そのため、定期的にパトロールを行うなどの対応をしていく必要がある。

また、建築面積等の規模に応じて、勧告ではなく命令することができ、その命令を無視して建てた場合には、景観法による罰則規定を適用することが可能になる。

②15人の有識者委員により、郡中らしい町並みがある所ということ、景観計画の範囲を決めた。



景観計画 (パンフレット)